



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和5年1月13日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

「どんな目標をもつか」

校長 小川 高弘

あけましておめでとうございます。保護者の皆様には健やかな新年をお迎えのことと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。昨年12月には、新型コロナウイルス感染症により、教室内での大規模な感染拡大ではありませんでしたが、東久留米市教育委員会の指導に従い、2クラスで学級閉鎖の判断をいたしました。3学期が始まりましたが、感染者と濃厚接触者はゼロにはならない状況が続いています。3学期には、2年生の校外学習、1年生のスキー教室、3年生の進路に向けた取組等も続きますので、引き続き、感染対策を徹底して適切に実施できるよう教育活動を進めていきたいと考えております。教育活動へのご理解とともに、ご家庭での健康管理にもご留意ください。

3学期のスタートは、学期だけでなく、新年の始まりでもあります。新しい節目の時期は、誰にとっても物事への新たな期待とともに、向上心を行動に移す良い機会になります。始業式では、3学期の短期間の目標に加えて、1年間を通して意識することができる目標をもつことが重要であると話しました。3年生には、「第1志望に合格する」という目の前の目標がありますが、その目標の奥には、もっと深い目標が隠れているのではないかと思います。4月からどのような生活がしたいのか、そのための前段階として、「第1志望に合格する」という目標があるのではないのでしょうか。

私たちは、目標があることで努力をし、努力したことで成果を期待します。目標を設定せずに漠然と取り組むだけではやる気も高まりません。自分自身で目標を設定することで、簡単にあきらめずに継続して頑張ろう、困難であってもそれを乗り越えようという強い気持ちをもつことができます。努力をしても必ずしも望んだ結果になるとは限りませんが、目標に向かって努力することや継続して取り組んだ満足感は、成果が得られなくても手ごたえとしてつかむことができます。そして、次の目標への意欲につながります。子どもたちが今考えている目標の実現のために、ご家庭でも励ましていただくことで、目標達成の可能性はさらに高まると思います。

子供を笑顔にするプロジェクト

12月21日(水)に、「子供を笑顔にするプロジェクト」による演技集団 朗の「Sky～あの空の向こうに～」を、1・2年生と3年生・保護者の二部構成で観劇しました。このプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症が広まってからの3年間、感染対策の観点から学校生活に様々な制約を受けている子供たちに向けて、「見る・聞く・触れる」体験を提供し、子供たちに笑顔を取り戻してもらうことを目的として、東京都教育委員会が始めたものです。

今回の作品は、日常が当たり前ではなく、愛しく大切な日々だと考えさせられる内容で、「相手を大切に思うこと」から家族、きょうだい、友情の「かけがえのない絆」に触れるものでした。友達と一緒に心を動かされ、思い出に残る機会になりました。

学年代表の3学期の決意

1月10日（火）の始業式で、各学年の代表生徒が3学期の決意を発表しました。

1年1組 横須賀 絵莉

今日から3学期が始まります。生徒の皆さんは学習や部活動など、冬休みを有効に過ごすことはできたでしょうか。3学期はこの学年、学級として過ごす最後の期間であり、今まで共に協力し、支え合ってきた仲間との集大成となる大切な時間です。一日一日を大切に過ごし、次の学年に向けて着実に成長を遂げられるようにしたいと思います。

3学期にはスキー教室や文化発表会などの大きな行事があります。中でもスキー教室は、私達1学年にとって初めての宿泊行事となり、協調性や絆を高める上でも重要な行事です。ただ楽しむのではなく、大きな成果が得られるよう、一人一人が意識を高くもち、団結してより良いものにしていきたいです。また、その他の学校生活においても、まだまだ改善すべき点は多くあります。授業中の私語やチャイム着席など基本的なことはもちろん、学習や部活動、委員会などをより充実させ、1年のまとめとして、そして2学年への土台作りとして今日から始まる日々を有意義なものにしていきたいと思います。

4月に入学した私達も、1学年としての時間は残すところわずか3カ月となりました。1年の最後となる3学期を実り多きものにできるよう、学年全体で協力して頑張っていきたいと思います。

2年4組 池田 巧人

私達は、今年度の2学年目標である「輪～仲間との強固な輪」のもと、中堅学年として後輩の見本となり、先輩を支えられるように、また、一人一人が団結して一つの輪になるように取り組んできました。

1・2学期には、昨年実施することができなかったスキー教室の代わりである移動教室に行ったり、保護者の方々ができる運動会や合唱会を体験したりすることができました。行事を通して、2学年の中での絆が深まるとともに、時間を見ながら速やかに行動する力やルールを守りながら自分たちで工夫する力、自主的に取り組む力が付きました。

しかし、中学校生活も後半になってくると、気が緩んでしまうこともありました。この学年では、学校施設の安全な使い方が不十分なところや服装に対しての注意が薄まってきているという改善すべき点があります。

この3学期には、4月から3年生となり、この学校を支える立場になることを意識し、2学期にあった問題を改善していきます。そして、文句のつけどころがないような学年になり、先輩や先生方が安心してこの学校を任せられるよう、個人も全体も成長していきます。さらに強固な輪を築けるように努め、2年生の集大成としてふさわしい学期にします。

3年2組 伊藤 こゆき

私たち3年生は、3学期に受験という大きな挑戦をします。あたかも個人戦のように見える受験も、クラスや学年が一丸となって、勉強しやすい環境を作る必要があるれっきとした団体戦です。だからこそ、勉強に取り組むことに集中しすぎて、ピリピリした雰囲気にならないよう、3年生の長所である、明るく・元気の良いところを失わずに、和やかな雰囲気を保っていききたいです。そのためには、授業中の切り替えや授業1分前着席など、自分の中でメリハリのある行動をすることや時間に気を付けることを、より一層意識していきます。

私たちがこのメンバーで過ごせる時間はあと少ししかありません。その短い期間で、これまで培ってきた土台を生かし、そして来年度の顔となる後輩たちへ引き継ぎし、自分の望む進路に進めるよう努力していきます。3ヶ月後の卒業式では、立派な姿で立てるよう、お世話になった先生方や両親への感謝の気持ちを忘れず、自分たちらしく過ごしていきたいです。

南中生の活躍

- ハンドボール部女子 東京都選抜 3年1組 木村咲笑 3年3組 篠宮心々
ジュニアオリンピックカップ 準優勝
- 卓球部 東京都中学校卓球新人大会 第11ブロック大会 第5位

